



## 学校だより No.28

# 白 樺

令和3年10月13日 (水)  
泉崎村立泉崎中学校

発行責任者 校長 桑原 透

### 泉崎中スローガン

- 1 明るく元気なあいさつ
- 2 健康・安全
- 3 「自他共栄」
- 4 「一歩改革」

### 目指す学校像

- 1 安全で安心して生活できる学校
- 2 生徒・教師が楽しめて「今日も来てよかったなあ」と思える学校
- 3 生徒が主体となって活動し、明るく活気のある学校
- 4 学校・保護者・地域が連携し、共に成長していく学校
- 5 保護者や地域から信頼される学校

## 後期学級委員

後期の学級委員が決定し、4日の朝会で校長先生より一人一人に任命状が渡されました。2学期は文化祭での学年発表や学級対抗の合唱コンクールがあり、12月にはスポーツ大会もあります。クラスのまとめ役として大変ですが頑張っています。

各学級の委員長・副委員長さんに意気込みを書いてもらいました。



学年 組	役職名	生徒氏名
1年1組	委員長	水野くん
	副委員長	新田さん
1年2組	委員長	井上さん
	副委員長	関根くん
2年1組	委員長	鏑さん
	副委員長	瀬戸くん
2年2組	委員長	後藤くん
	副委員長	水戸さん
3年1組	委員長	瀬戸くん
	副委員長	緑河さん
3年2組	委員長	菊地さん
	副委員長	相田くん
5 組	委員長	溝井くん
	副委員長	箭内さん

1年1組 委員長 水野くん

学級委員長になって僕はあいさつをよくしていきたいです。例えば朝会の時に生徒会の人にあいさつをして、よくしていきたいと思っています。

1年1組 副委員長 新田さん

クラスの副委員長として、みんなをまとめられるように頑張ります！

1年2組 委員長 井上さん

後期学級委員長として、特に判断ができるクラスにしていきたいです。そしてみんなで協力し、笑顔あふれるクラスにしていきたいです。前期学級委員長を引き継ぎ、頑張ります。

1年2組 副委員長 関根 璃空

1年2組の副委員長として、クラスの笑顔をよくしたり、委員長のフォローなどを2学期と3学期がんばりたいです。

2年1組 委員長 鏑さん

2年1組全員がこのクラスでよかったと思えるクラスにしていけるよう、副委員長と協力しながらがんばりたいと思います。

2年1組 副委員長 瀬戸くん

また新たな日常が始まります。委員長のサポートはもちろん、見逃したりしたところをカバーしつつ、より良いクラスにしていきたいです。

2年2組 委員長 後藤くん

学級委員長としてみんなをひっぱって、笑顔でいっぱい学級にしたいです。まとめられるよう頑張ります。

2年2組 副委員長 水戸さん

まさか私がやるとは思っていませんでしたが、みんなの期待に応えられるよう、精一杯がんばりたいです。

3年1組 委員長 瀬戸くん

いざ学級委員長になると、とても不安でしたが、残り半年の学校生活を楽しめるような学級にしていきたいです。

3年1組 副委員長 緑河さん

3年生になると全ての行事や物事に「最後」という言葉が必ずついてきます。その最後をよりよいものにするため、卒業まで残り少ない中学校生活を、クラス全員が楽しみ充実できるような学級につくりあげたいと思っています。

3年2組 委員長 菊地さん

残りの学校生活が、毎日楽しくなるように、そして全員が志望校に合格できるように、思いやりを大切にしていきたいです。

3年2組 副委員長 相田くん

後期学級委員は、白樺祭やスポーツ大会、3年生は修学旅行と行事がたくさんあり、大変だとは思いますが、委員長と協力しながら「理想の学級像」に少しでも近づけるように頑張ります。

5組 委員長 溝井くん

5組を笑顔があふれるクラスにします。それには、こまっている人がいたら、相談にのってあげます。よろしくおねがいします。

5組 副委員長 箭内さん

私は5組の生徒たちに清掃の整列を呼びかけたりしたいです。前期は委員長さんをやってきたので、副委員長になっても5組さんの力になれるように、努力したいです。

## 朝会での校長講話

「究極の幸せとは」について考えるシリーズ「宍戸 仙助さんから学ぶ」 10/11

### 宍戸 仙助（ししど せんすけ）さん

- ・福島県の教員だった方で伊達市の小学校長で退職
- ・東日本大震災時は東白川郡矢祭の小学校長だった
- ・退職後2013年から、毎年20校ほどの学校建築を進めるアジア教育友好協会に身を投じ、ベトナムやラオスの山岳地帯の教育環境の恵まれない子どもたちへの支援・交流活動を行っている。
- ・現地の子どもの輝く瞳から学ぶことを伝えるため、日本で年間100回ほどの出張授業や講演を行っている。

「あなたの夢は何ですか」と聞かれたら何と答えますか？

#### 東南アジアのラオスという国

- ・国土のほとんどが山岳地帯で、世界で最も貧しい国の一つにあげられ、一人当たりのGDP（国民総生産）が日本の約1%しかない

#### 子どもたちの夢は それは「大人になること」

- ・ラオスでは日本ではすぐに治るような病気や栄養失調で10人にひとり小学校に入る前に死んでしまう
- ・学用品は机といすと黒板だけの学校が多く、場所によっては教室も少ないため、午前と午後に分れて勉強している

#### 宍戸さんが講演を行ったある中学校の3年生からの手紙

「良い高校に入って大学に行って就職することだけが幸せなのだろうか。宍戸先生は「人の役に立つ」ことをしています。何が幸せか、しっかりした答えは出ていませんが、将来、僕は人の役に立ててみんなが笑えるようなことがしたいです。」

#### まとめ

「自分の夢は」と語る時、この夢は人とつながっているだろうか、人の役に立つだろうか、人を幸せにできるだろうか、と考えてみましょう。そうしたら、きっとあなたの夢は自分だけの夢でなく、人のための夢になります。

そして何のために学ぶのか、何が幸せなのか、何のために生きるのか。「何のために、何のために」と自分へ問い続けることは自分を大きく成長させていきます。

